

南アルプス市 平成 26 年度 事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料 作成日 H 27 年 3 月 26 日作成

事務事業名	南アルプス市姉妹都市国際交流プログラム推進事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2012- 900044				
	□ 実施計画事業		所属課室	南アルプス教育推進課	課長名	飯窪 俊貴				
			所属担当	教育指導担当	担当者名	小林 智奈美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	10	01	02	020	87
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)			法令根拠						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 「世界にはばたく南アルプスの子どもたち」の実現を図るため子どもたちの国際化をさらに拡大するため必要な調査を行う。 姉妹都市の現状を調査した結果、小学生や中学1年生を対象にしたプログラムを立ち上げることができることがわかった。外国語や異文化への興味を持ち、外国語の授業へのモチベーションをアップさせる事業を設置する。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 報償費 20 需要費 217 役員費 46 会場使用料 200 計 483						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 小学校高学年を対象とした、英語体験プログラムの実施。姉妹都市の学校との芦安小中学校との交流内容についての具体的な計画をす 27年度活動予定 小学生を対象とした英語体験プログラムの実施。実際に英語を使う季節にちなんだ体験プログラムの実施。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイングリッシュキャンプ 回 イ外国語イベント 回 ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	小学生4, 5, 6年生 芦安中学生	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア小学生4, 5, 6年 人 イ中学生 人 ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	授業から離れたところでネイティブが話す外国語に触れる機会をつくり、英語を使って積極的にコミュニケーションを図る児童を育成する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア小学校5, 6年生 人 イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	英語や海外に関心を持ち、積極的に外国語習得に取り組む	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア小学校5, 6年生 人 イ中学生 人 ウ

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円							
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	1,100	478	483	483	483	483	
	事業費計(A)	千円	1,100	478	483	483	483	483	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	500	800	20	20	20	20	
	人件費計(B)	千円	2,276	3,641	91	91	91	91	0
	(A)+(B)	千円	3,376	4,119	574	574	574	574	0
活動指標	ア 回 イ 回 ウ		1.0	1.0	1.0	1.0			
対象指標	ア 人 イ 人 ウ		1,594.0	1,550.0	117.0	120.0	1,500.0	1,500.0	
成果指標	ア 人 イ 人 ウ		1,594.0	1,550.0	1,550.0	1,516.0	1,500.0	1,500.0	
上位成果指標	ア 人 イ 人 ウ		1,594.0 2,393.0	1,550.0 2,300.0	1,500.0 2,300.0	1,500.0 2,300.0	1,500.0	1,500.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H24年度新規 国際化がますます進む青少年に英語を身につける新しい国際交流プログラム実施に向けた調査研究費として新規に予算計上した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	国際化が進み、話せる英語を身につける必要性が重要になってきている。小学校では、5, 6年に外国語活動が始まり、中学校では、週4時間の英語授業が行われている。芦安小中学校が、文科省から特例校として英会話科
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	議会等でも、小学校の外国語活動の実施状況や環境整備等についての質問は多く関心の高さは大きい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	実際に英語を使い体験活動を行った。スタッフは、外国語指導助手(ALT)を活用すること、また、英会話科の芦安中学生をリーダーとして活動に参加してもらい、コミュニケーション活動の体験プログラムとして位置づけた。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	小学生4, 5, 6年生を対象とした英語体験プログラムを、芦安中学生を交え実施した。

事務事業名	南アルプス市姉妹都市国際交流プログラム推進事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 小学生を対象とした英語体験プログラムであること。英語を使つての行事により、英語授業への関心を高めることを目的としているため。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 小学生を対象とした英語体験プログラムであること。小学校外国語活動を反映したプログラムのため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 小学校の3年生からの外国語授業が、2年後を目処に始まることになるため。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 内容の見直しを毎年行っていく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 現時点では、他事業との統合等はできない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 類似事業がないため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 内容の見直しや手法も含め今後取組む必要はある。対象者やスタッフについても、検討が必要である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 実際の活動には、ALTを活用予定である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 一部自己負担を徴収している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	小学校の外国語活動、及び芦安小中学校の英語教科を充実させていくためにも、小学生の柔軟な時期から英語を体験し、学んでいく体験プログラムは必要となっていく。但し、内容や活動状況、手法なども、毎年見直していく必要は大きいと思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 内容は毎年学校現場の状況も把握する上で、見直しが必要。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 外国語活動状況の把握や芦安小中学校で行う英語教科の指導内容との連携。情報収集などを行い現状にあったプログラムを作成していく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					